

# 第2期山形県文化推進基本計画 概要について②

～未来につなぐ、広がる、やまがたの文化～

## V 施策の展開

①文化の担い手(演じる・鑑賞する・運営する)の育成 ②文化活動の発表の場の確保・文化に触れる機会の拡大 ③文化活動における情報発信の強化、デジタル技術の活用促進  
の3つの重点的取組みの視点により4つの基本的施策のそれぞれの目指す姿の実現に向けて施策を展開

### 【 基本的施策・施策の展開方向 】

### 【 施策の方向性（取組みの例） 】

#### 1 文化の振興等

##### 目指す姿

本県の特色ある文化が県民共通の財産として、その多様性が尊重されつつ、着実に次の世代に受け継がれるとともに、新しい文化が創造され、ともに発展し続けている社会

- (1) 芸術・生活文化等の振興
- (2) 伝統芸能等の継承及び発展
- (3) 特色ある文化の継承及び発展
- (4) 文化財等の保存及び活用
- (5) デザインの保存及び活用

- ・「**県民芸術祭**」の開催等による子ども、若者をはじめ幅広い世代の文化活動への参加意欲の醸成
- ・文化団体等による**先進的・創造的モデル事業等**の促進や**立ち上がり時期の文化活動への支援等**による**若者の文化活動**の促進
- ・地域住民が**伝統芸能等を映像で記録し、保存・継承活動等**に活用する取組みの推進(例:ふるさと塾アーカイブス)
- ・県民が地域で郷土の歴史や精神文化、食文化、伝統工芸等を**学ぶ取組み**の促進
- ・精神文化や舟運文化、食文化など本県の特色ある文化を**子ども、若者や外国人等に伝える取組み**の推進
- ・有形・無形の文化財を地域で守り、活用する取組みの促進(例:「未来に伝える山形の宝」登録制度、文化財防災の普及啓発)
- ・**デザインの価値**を高める取組みや**効果的活用に向けた取組み**を推進(例:山形エクセレントデザイン)



県民芸術祭で各文化芸術団体等が日頃の練習や研鑽の成果を披露

#### 2 文化に親しむ環境づくり

##### 目指す姿

県民誰もが生涯を通じて、文化を鑑賞し、参加し、創造することができる環境が整備され、喜びや感動、心の安らぎを享受している社会

- (1) 県民の文化に親しむ機会の充実
- (2) 文化施設の充実及び活用促進
- (3) 事業者による文化活動等の促進
- (4) 文化情報の収集及び提供・発信

- ・文化団体等との連携による県民が優れた**公演やコンサート、展覧会を鑑賞する機会の充実**
- ・山形県総合文化芸術館の規模や機能を活かした質の高い**舞台公演や著名アーティストの公演**など、県民が魅力を感じる事業の推進
- ・**県立博物館の移転整備に向けた調査・検討**
- ・ふるさと納税やクラウドファンディング、寄付など県民や企業による文化活動への支援の促進(例:やまがた社会貢献基金)
- ・関係機関が連携した**県内の文化情報**(文化施設、文化団体、伝統芸能・文化財、人、イベントなど)の収集、**HPなどでの発信**(例:HP「やまがたマナビィnet」)
- ・文化施設などでの**SNS等による文化情報の発信**の促進



やまぎん県民ホールで東京二期会によるオペラ『フィガロの結婚』公演 (R5.1)

#### 3 文化をはぐくむ人づくり

##### 目指す姿

文化活動の主役である県民の自主性、創造性が尊重され、その地位の向上が図られるとともに、能力を十分に発揮している社会

- (1) 県民の文化発信力の向上
- (2) 子どもの創造性等の育成
- (3) 高齢者及び障がい者の文化活動の促進
- (4) 文化の担い手の育成及び確保
- (5) 顕彰

- ・日本遺産に関する講座の開催など県民が郷土の歴史や文化を学び、関心や理解を深めるための取組みの推進
- ・子どもや若者が様々な**地域の文化に触れ、体験し、発表する機会の創出**促進(例:子ども伝承活動「ふるさと塾」こども郷土芸能芸術まつり)
- ・**山形県総合文化芸術館**などを活用した**子どもたちへの芸術文化に触れる機会の創出**(例:社会科見学コンサート)
- ・やまがたアートサポートセンターを拠点とした**障がい者の文化芸術活動**への支援の推進
- ・伝統芸能・伝承文化の子ども、若者や外国人等を含めた**担い手を確保・育成する取組み**の推進
- ・地域の文化芸術団体、住民、文化芸術施設を**繋ぐ役割を担う人材育成**(例:地域文化コーディネーターの育成)
- ・芸術、学術等の分野で本県**文化の向上に顕著な功績を挙げた県民の表彰**(例:齋藤茂吉文化賞)



「こども郷土芸能芸術まつり」で子どもたちが日ごろの文化活動の成果を披露

#### 4 文化を活用した社会づくり

##### 目指す姿

県民が郷土の文化に誇りと愛着を持ち、国内外に文化を積極的に発信し、文化を通じた多様な交流が行われている社会

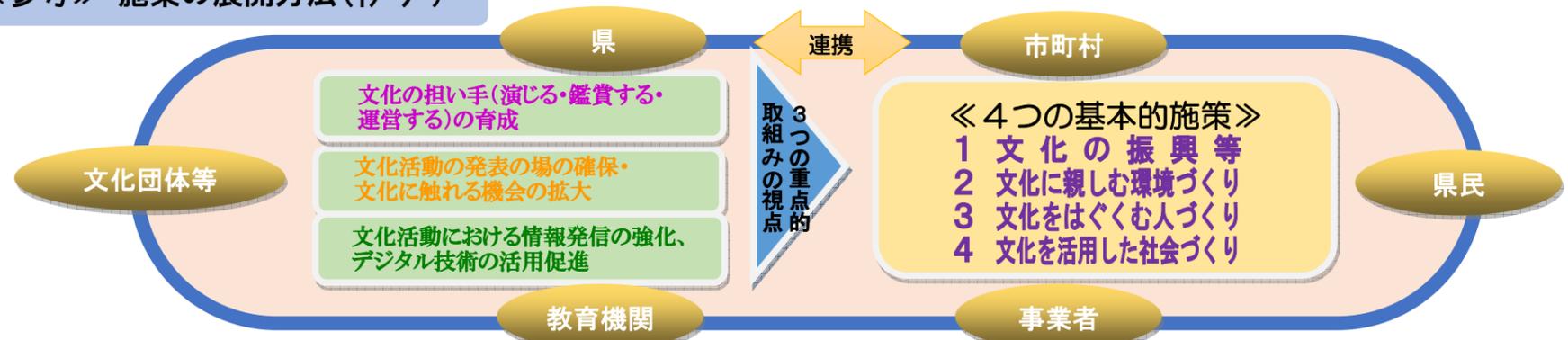
- (1) 文化の活用による地域の活性化
- (2) 文化の活用による経済の活性化
- (3) 文化の活用による観光振興
- (4) 文化に関する情報発信及び交流の推進

- ・文化施設、地域、大学等が連携した**文化イベントの開催等**による賑わいづくりの促進
- ・文化財等を活用した**地域イベントの開催**の取組みの促進
- ・県内の文化施設で開催される全国・東北規模の大会や、音楽団体の県外公演等の機会を活用した**本県の文化情報発信**の促進(例:さくらんぼコンサート)
- ・山形の特色ある文化資源(美術館・博物館、華道・茶道などの伝統文化、精神文化、食文化、日本遺産など)等の**観光振興への活用促進**(例:やまがた出羽百観音など地域の文化資源の磨き上げ)
- ・ホームページやSNS、大規模イベントなど**多様な手法による国内外への情報発信**の推進(例:紅花文化や出羽三山の精神文化、食文化等をHP「やまがたへの旅」で紹介)
- ・在住外国人や留学生などによる**本県文化等の国内外への情報発信**の取組み推進



さくらんぼコンサート東京公演で山形の音楽と食をPR

### 《参考》 施策の展開方法(イメージ)



## VI 推進体制

### ○関係機関との連携

文化活動の主体である県民、文化団体、文化関連施設、企業、教育機関、県・市町村などの行政機関が、それぞれの立場に応じて連携・協働しながら取組みを推進

### ○進行管理

毎年度、計画に掲げる施策の取組状況や進捗状況を把握し、進行管理と評価を行い、次年度以降の施策展開に向けた検討を実施